

2024 年 10 月 17 日

報道関係各位

CTC エスピー株式会社

CTCSP、スケールアウト型データプラットフォーム「VAST Data Platform」を提供開始 先進の圧縮アルゴリズムと 2 種類のメモリで、低コスト、高速処理、高耐久性を実現

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(略称:CTC)のグループ会社で、IT 関連機器やソフトウェアの販売を行う CTC エスピー株式会社(代表取締役社長:上 克也、本社:東京都港区、略称:CTCSP)は、米 VAST Data, Inc. (CEO:Renan Hallak、本社米国ニューヨーク州)のオールフラッシュストレージ「VAST Data Platform (ヴァスト・データ・プラットフォーム)」の提供を開始します。筐体ごと増設することで処理性能も拡張するスケールアウト型のストレージソリューションで、先進の圧縮アルゴリズムや 2 種類のメモリを併用し、低コスト、高速処理、高耐久性を実現しています。大量のデータを解析する AI 基盤の構築を目指す企業を中心に展開し、3 年間で 50 億円の売上を目指します。

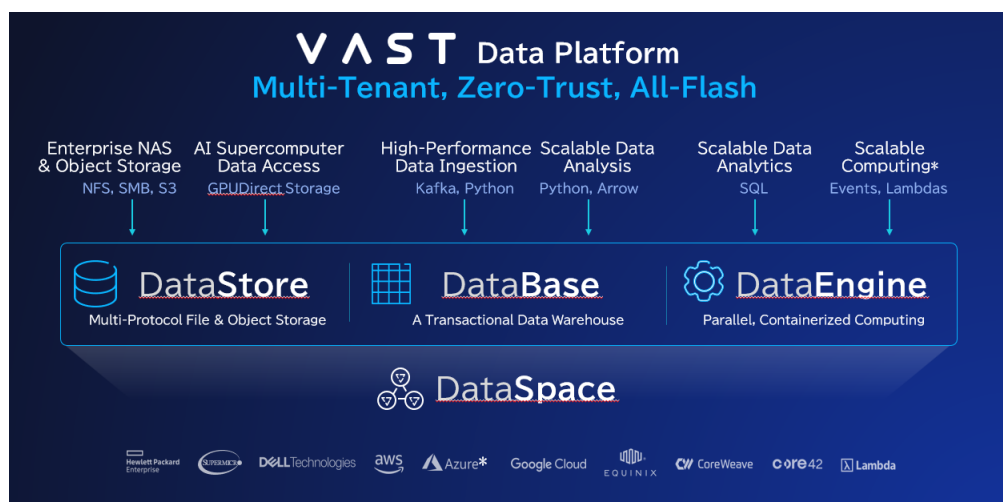
近年、多くの企業が、自社内に蓄積された画像や音声データ、販売履歴などの多様なデータを解析して、ビジネスの拡大や業務効率の向上に取り組んでいます。AI による精度の高い解析・予測には多くのデータが必要で、高速に処理するには大容量のオールフラッシュストレージが最適とされています。しかし、従来のオールフラッシュストレージはハードディスクと比較してコスト面と耐久性の点で課題がありました。

VAST Data Platform は、低コストでありながらデータの高速処理、大容量、高耐久性を実現したストレージソリューションです。データの重複排除・圧縮だけではなく、独自の類似性圧縮のアルゴリズムが加わることで、ストレージ容量をさらに効率良く活用できます。また、データの記憶を繰り返すメモリの摩耗を防ぐため、データを高速に書き込める SCM(ストレージクラスメモリ)と低コストで汎用的な QLC(クアドレレベルセル)フラッシュメモリを併用することで、データの書き込み回数の大幅な削減につながり、より高速な処理と高い耐久性を両立しています。また、VAST Data Platform の増設によってデータの書き込み処理を複数のストレージに分散できるため、システム全体の処理能力も向上します。エクサバイト規模(1 エクサバイトは 10 億 GB に相当)への容量拡張も可能です。最大で 10 年間の長期保守サポートサービスも提供します。

CTCSP は、これまで多数のストレージ製品を取り扱っており、製造業やサービス業をはじめ多くのお客様への導入や保守サービスを行ってきました。CTC が取り扱う NVIDIA 製品とも VAST Data Platform を組み合わせ、CTC グループのノウハウを活かしてお客様の AI 基盤構築における導入設計から各種の設定、運用まで一貫して支援していきます。

<VAST Data Platform 概要>

<https://www.ctcsp.co.jp/products/vastdata/>



<標準ハードウェアでのご提供形態>

ハードウェア	付加価値
ご提供体系: 買い取り 構成部品: - コンピュータノード - NVMe ファブリック イーサネットスイッチ - データノード	✓ アップタイム保証(99.9999%) ✓ システム耐久性保証 ✓ データ削減保証(事前確認可能、承認必要) ✓ 10年間のフラッシュ寿命保証 ✓ 最低消費電力保証 ✓ 60日間の無条件返品保証
ソフトウェア	
ご提供体系: サブスクリプション 購入単位: 必要容量/100TB単位での課金 (24H365D Level-3 Copilotサポート含む) ※上限はクラスターの格納可能容量に依存 契約年数: 1~10年	

今回のプレスリリースにあたり、以下のコメントをいただいております。

VAST は、AI や深層学習のワークロード向けにゼロから設計された高性能で安全、耐障害性、拡張性に優れたデータインフラの提供に尽力しています。CTCSP とのパートナーシップは、日本全土のデータドリブン型の組織が最先端のインフラソリューションを活用して自社データの潜在能力を引き出し、AI を最大限に活用するために不可欠です。

VAST Data, Inc.

Vice President, Worldwide Channels Gregg Machon

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

CTC エスピー株式会社

ソリューション推進部

E-mail: sp-press@ctc-g.co.jp